

渡島・檜山地方の気象

平成 25 年 3 月（2013 年）

函館海洋気象台

平成 25 年 4 月 26 日

◎ 気象概況

この期間の天気は、上旬と中旬は前線を伴った低気圧の通過や気圧の谷の影響で雪や雨の降る日が多かったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日があった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は平年より少なかった。

【上旬】

1日は、前線の通過で雪が降った。2日は、北海道付近を通過した発達した低気圧の影響で雪が降った。3日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。4日～5日は、気圧の谷の影響で雪が降ったが、晴れた所があった。6日は、気圧の谷の通過で雨や雪が降ったが、次第に高気圧に覆われ昼前から晴れた。7日は、前線の通過により曇りで昼過ぎから雨が降った。8日は、前線を伴った低気圧の通過により曇りで昼過ぎから雨が降った。9日は、冬型の気圧配置により曇りで昼過ぎまで雪が降ったが、太平洋側で晴れた所があった。10日は、北海道付近を通過した発達した低気圧の影響で雪や雨が降った。

【中旬】

11日は、冬型の気圧配置により曇りで夕方まで雪が降った。12日は、低気圧を含む気圧の谷の影響により曇りで夜から雨が降った。13日は、前線の通過で夕方まで雨や雪が降ったが次第に曇った。14日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。15日は、低気圧を含む気圧の谷の通過により曇りで雨や雪の降った所があった。16日は、気圧の谷の影響により曇りで雪の降った所があった。17日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、明け方まで雪の降った所があった。18日は、低気圧を含む気圧の谷の影響により曇りで朝から雨が降った。19日は、気圧の谷の影響により曇りで昼前に雨が降ったが、次第に高気圧に覆われ晴れた。20日は、低気圧を含む気圧の谷の影響で雪が降った。

【下旬】

21日は、冬型の気圧配置により曇りで夕方まで雪が降った。22日は、前線の通過で雨や雪が降った。23日は、冬型の気圧配置により曇りで朝から雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。24日は、高気圧に覆われ晴れたが、昼前まで雪の降った所があった。25日は、高気圧に覆われ晴れたが、気圧の谷の影響で昼過ぎから雪の降った所があった。26日は、気圧の谷の影響により曇りで夕方まで雪が降ったが、晴れた所があった。27日は、高気圧に覆われ晴れた。28日は、前線の通過で曇った。29日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、次第に冬型の気圧配置となり昼過ぎから雪が降った。30日は、気圧の谷の通過で雪が降った。31日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷の通過で雪の降った所があった。

気温：各地点の月平均気温は $-1.2 \sim 2.3$ °Cで、平年差は $-0.8 \sim -0.1$ °C。

長万部・八雲町八雲・松前・八雲町熊石では平年より低く、その他の観測点では平年並だった。

降水量：各地点の月降水量は $49.0 \sim 160.0$ mmで、平年比は $86 \sim 177$ %。

北斗では平年より少なく、函館市川汲・八雲町熊石・せたな町瀬棚では平年並で、その他の観測点では平年より多かった。特に長万部・八雲町八雲・奥尻町稲穂・厚沢部町鶉・江差・上ノ国町石崎では平年よりかなり多かった。

日照時間：各地点の月間日照時間は $68.8 \sim 127.1$ 時間で、平年比は $58 \sim 87$ %。

すべての地点で平年より少なかった。特に長万部・函館市川汲・函館市美原・松前・八雲町熊石・せたな町瀬棚・今金・奥尻町稲穂・厚沢部町鶉・江差では平年よりかなり少なかった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

官署名	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪の深さ 月合計 (cm)	月最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)		
函 館	1.2	-0.2	74.5	126	127.1	81	43	41
江 差	2.2	-0.3	109.5	177	75.1	59	26	24

(平年比・差は1981年から2010年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

特記事項なし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《3月1-3日 渡島地方》

概況：1日、日本海の前線を伴った低気圧が、急速に発達しながら2日に北海道を通過し、3日には千島近海で968hPaまで発達した。このため1日は南東の風が非常に強く、2日には強い冬型の気圧配置となり、北西の風が雪を伴い非常に強く、海は大しけとなった。

気象現象名：強風・波浪・雪崩

気象災害名：強風害・海上波浪害・雪崩害・沿岸波浪害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最低海面気圧	986.3hPa	3月2日 9時17分	函館
最大風向・風速	西南西 14.3m/s	3月2日 7時9分	函館
最大風向・風速	西北西 18.3m/s	3月2日 10時47分	松前
最大瞬間風向・風速	北西 22.7m/s	3月2日 11時50分	函館
最大瞬間風向・風速	西北西 29.2m/s	3月2日 10時25分	松前
期間降水量・平年比	9.5mm (144%)	3月1日～3月3日	函館
期間降水量	33.0mm	3月1日～3月3日	知内
降雪の深さ日合計最大	4cm	3月1日	函館
最深積雪	41cm	3月1日	函館
最深積雪	156cm	3月3日	千軒
積雪差日計 0時～24時	14cm	3月2日	千軒
日平均気温・平年差	0.3°C (+1.0°C)	3月1日	函館
日平均気温・平年差	2.0°C (+1.2°C)	3月1日	松前

被害状況：函館市や八雲町、松前町で住家の損壊や停電があった。福島町で雪崩による国道の通行止めが発生した。その他、JRは江差線・津軽海峡線などで46本が運休し、航空便12便欠航、フェリー6便欠航となる被害をもたらした。

《3月1-3日 檜山地方》

概況：1日、日本海の前線を伴った低気圧が、急速に発達しながら2日に北海道を通過し、3日には千島近海で968hPaまで発達した。このため1日は南東の風が非常に強く、2日には強い冬型の気圧配置となり、北西の風が雪を伴い非常に強く、海は大しけとなった。

気象現象名：強風・波浪

気象災害名：強風害・海上波浪害・沿岸波浪害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最低海面気圧	988.6hPa	3月2日 9時11分	江差
最大風向・風速	西南西 21.7m/s	3月2日 6時3分	江差
最大風向・風速	西 25.7m/s	3月2日 5時14分	米岡
最大瞬間風向・風速	西 31.4m/s	3月2日 8時11分	江差
最大瞬間風向・風速	西北西 32.9m/s	3月2日 6時1分	米岡
最大波高	(速報値)16.6m	3月2日6時	上ノ国
有義波高	(速報値)10.5m	3月2日6時	上ノ国

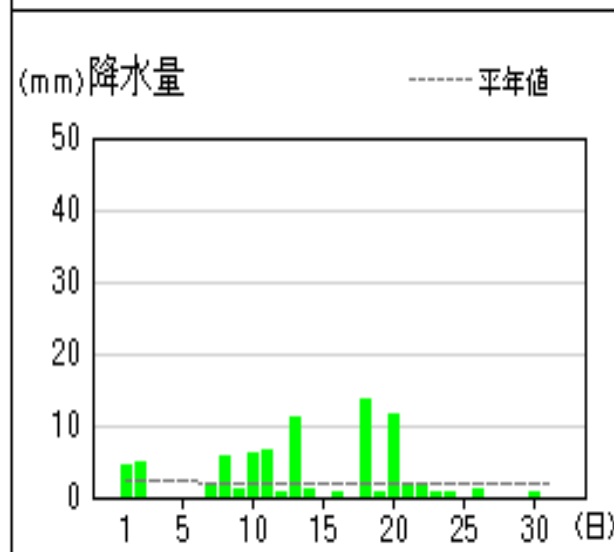
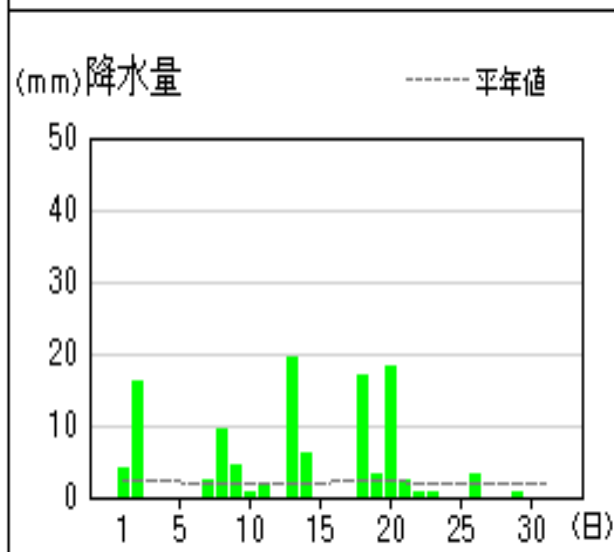
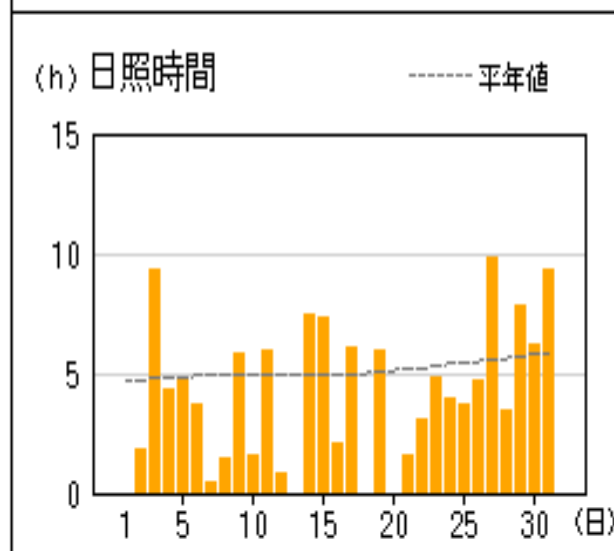
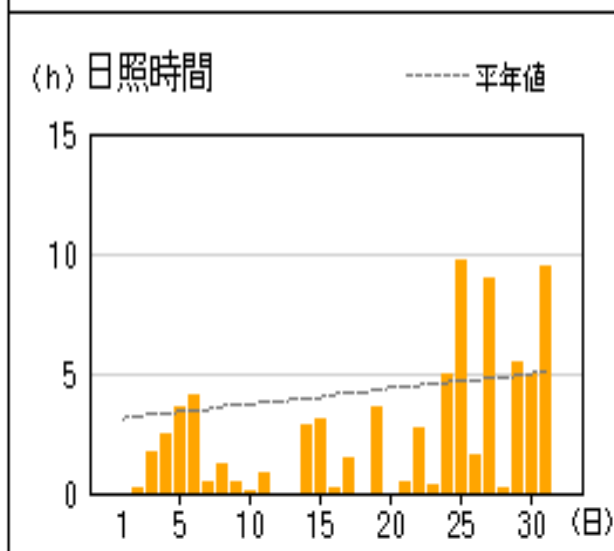
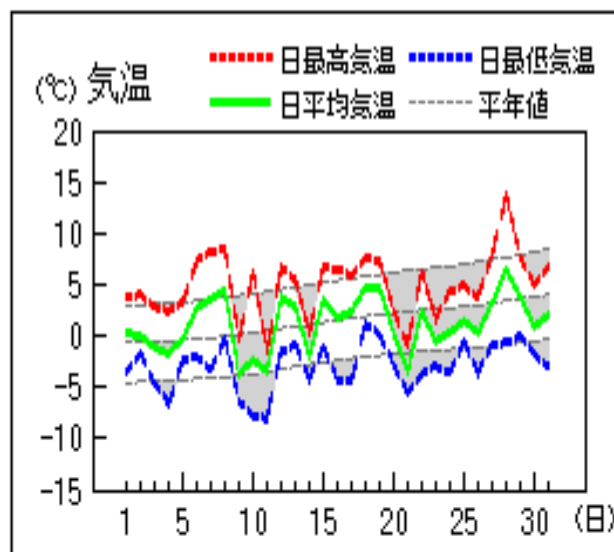
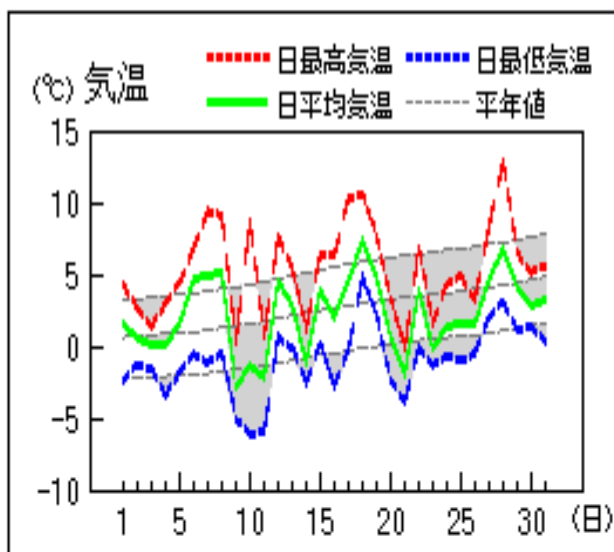
被害状況：せたな町で越波による道道の通行止め1件、奥尻町では223戸の停電となった。その他、JRが12本運休しフェリー2便が欠航となる被害をもたらした。

◎ 气象経過図 (3月)

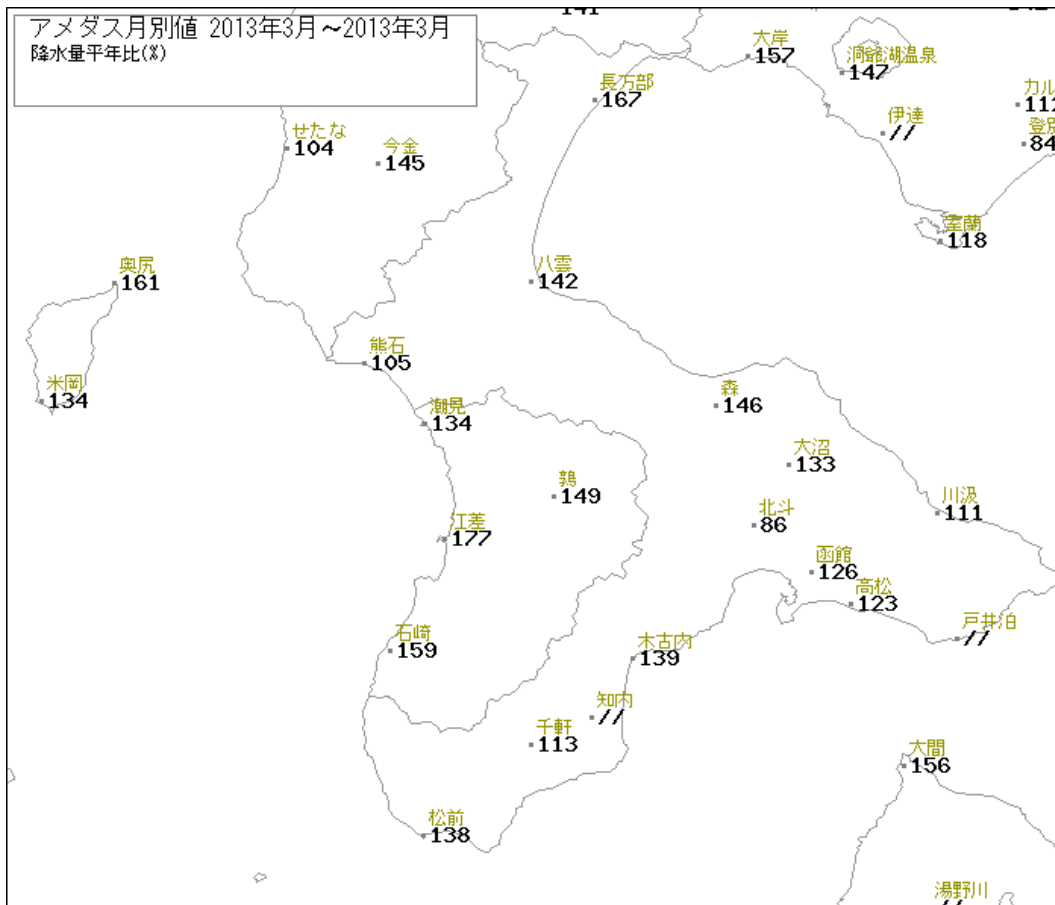
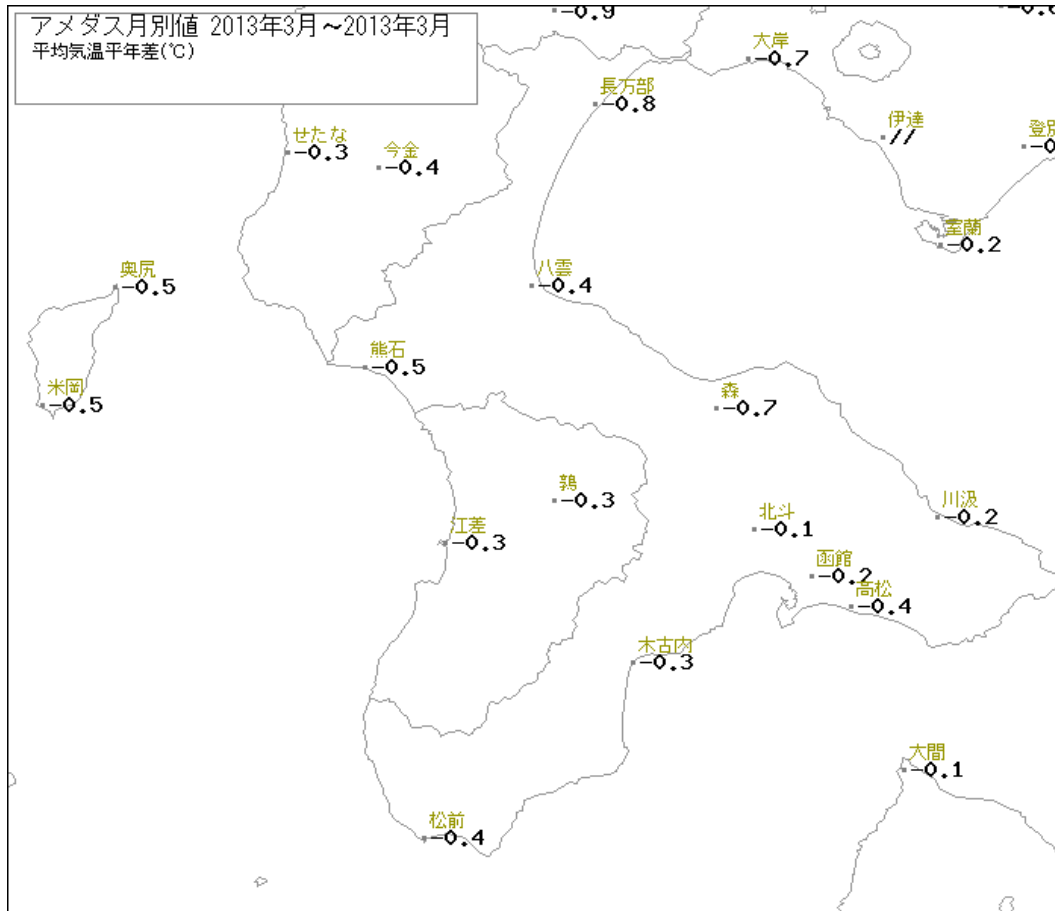
地上气象 气象経過図：2013年03月01日-2013年03月31日

江差

函館



◎ 気象分布図 (3月)



アメダス月別値 2013年3月～2013年3月
日照時間平年比(%)

